

<真剣味> 50

2016. 3. 30

初勝利！

現チームは昨年の夏から、公式戦、練習試合に一度も勝っていないチームでした。ただ惜しい試合もありました。昨年11月の試合では最終回まで勝っていた試合が2試合続きました。でも勝ちに慣れていないためか、勝ちの流れを自分たちから手放した感じがしました。難しいでしょうけど、もっと淡々と試合を進められれば結果も変わっていたと思われます。勝ちを意識しすぎたのか、最後の最後で四球を出したりして踏ん張りきれず、逆転されてしまいました。最後まで冷静に投球すること、この辺が今後の課題となっていくと思われます。

やっと3月20日(日)の練習試合で勝つことができました。

この日は途中で雨が降り中断する場面もありましたが、何とか2試合を行うことができました。そして、なんと2勝することができました。この日は試合に慣れること(新1年生を含め自分の役割を)、盗塁に挑戦するなど課題をもって当日の試合に臨みました。

投手は前週よりイニングを増やし投球するなかで、何とか自分の役割を果たし試合を作ることができました。また、盗塁も目標数をクリヤーすることができました。勝つには勝ちましたが、まだ今シーズン4試合目ですから、やればやっただけ課題も出てきます。次の遠征でも課題を持ち、その解決と勝利に努力します。

長野遠征！

この遠征では打順を入れ替えながら、しつくりくる打順を見つける。また、投手の投げる順番を変えながら対応できるところを見つける。この辺を確認し、1つずつ自分で固めていければと思い臨みました。

<第一日>

対小諸 7対9 負け ・初回のチャンスを私が生かせれば、こんな結果にはならなかつたように思います。その後選手は頑張りました。ただうまく流れに乗れず、得点を取ると取られる。これの繰り返しがあり、完全に自分たちのペースで野球ができませんでした。やはり、E&Bが多い試合では、相手の流れを食い止められませんでした。ただ、1番バッターの出塁率の良さ、4番バッターのタイムリーヒット、積極的な走塁は良かった点です。

対須坂 1対10 完敗

- ・先頭打者を何度も塁に出してしまった。これでは得点される確率は上がる一方です。
- ・ランナーが出た後、どこでランナーを刺すかの確認が不徹底であった。
- ・グローブだけでボールを追いかけた感じで、グラブの芯で取れていなかった。
- ・全体的に打線がつながらなかつた。

<第二日>

対上田 4対7 負け ・1回と4回に打線が繋がって4点を取ることができました。ただ、B&Eが絡んでくるとまだ相手の勢いを止めることができない。

対上田 9対7 勝ち ・失点されたイニングには必ずEかBが入っている。打線の繋がりがよかったです。そして盗塁、送りバント、スクイズなどを確実に決めていた。

これからの課題

- ・打撃では「最短距離でスイングする」こと、「バットの芯に当てる技術」
 - ・守りでは「ボールに対しての第一歩のスピード」(投球フォームに合わせて動く)
「確実なキャッチ＆リリース」「声の掛け合い、どのようにアウトをとるのか」
 - ・投手はいかに冷静に、リズムよく、安定した投球ができるか。
- 「悔しい」、この言葉は敗戦のあとよく聞くが、ただそれで終わることもある。その気持ちが本気であればきっと自分一人でも動き出せるはず、分からぬ時にはコーチ等にアドバイスを求め進む方向を確認し、動けるはず。春季大会まであとひと月を切りました。バネに出来るか、口だけで終わるかは選手次第です。今回の遠征も保護者の皆様のご協力に感謝致します。